

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	「ゆめのロボット」を作る	
学年	小学校第4学年	
目標	理由や根拠を挙げて、自分の考えた「ゆめのロボット」に込めた願いや考えを発表することができる。	
教材タイプ	ビジュアル言語	
使用教材	MESH, iPad	
環境	児童4人で1台の端末を使用	
都道府県	茨城県	
実施校	牛久市立牛久第二小学校	
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>◆学習内容・活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題をつかむ。 2 前時までに作ったロボットのよさを発表する。 3 プログラムを変更したロボットの動作確認をするために、プログラムを実行する。 4 文章の組み立てを考える。 5 振り返りをする。 	<p>【概要】</p> <p>本単元では、二つの文章を関係づけて読み、考えたことを友達と伝え合い、自分の考えを深め、広げることができることを目標としている。インタビュー記事と説明文に書かれていることをもとにして、自分の「ゆめのロボット」について考え、文章にまとめ、発表する。</p> <p>本実践では、自分の考えたロボットのよさを伝える際に、実際に動きを見せることでロボットのよさがより伝わると考え、MESHを使ったプログラミング学習を取り入れる。</p> <p>【プログラミング教育で育てたい資質・能力】</p> <p>自分の考えた「ゆめのロボット」を作るために、命令を組み合わせたり、コンピュータに意図した処理を行わせるためには、必要な手順があることに気付いたりすることができる。</p> <p>【手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のアドバイスを受けてプログラムを変更する場合は、自分の考えを分かりやすくまとめるために、ワークシート上に付箋紙を使ってプログラムを組むように指示する。
	<p>考えたプログラム</p>	<p>タブレット端末でプログラムを確認</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業に、プログラミング教育を取り入れたことで、ロボットのよさを伝えるための文章の構成を検討する際も、プログラミング的思考を生かした指導ができた。 ・国語の学習のねらいとプログラミング教育のねらいが交錯しないよう、指導計画を立て、授業を展開することが難しい。 	